


分野	31	地域活動・市民活動	通番 57
施策	312	市民活動の活発化と協働の促進	
5年後の目標		生活の充実につながる市民活動が活発化し、団体の活動や活動団体相互の協働がまちづくりの力になっている。	

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	市民参画協働推進事業		会計	款	項	目	1,754,728	自治振興室
			一般	2	1	19		
事業の概要								
市民活動団体への財政的支援や活動拠点の提供、幅広い市民の参画の促進、情報発信や啓発などを実施します。 また、計画的に施策を進めるため、計画の策定及び進行管理を行います。								


平成30年度の取組							
指標(H30年度～)	「長岡京市市民協働のまちづくり推進プラン」施策の達成率				単位	%	
現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2	
58.9(平成28年度)	目標	/			62.0	63.0	65.0
	実績	/			64.7		
D (取組)	<ul style="list-style-type: none"> 市民参画協働推進本部政策研究会(協働ワーキング)による協働事例紹介「とつげき!となりの市民協働」を発行し、市民参画に対する情報発信を実施しました。 市職員の協働意識の向上に向け、職員研修を行いました。 市民参画協働懇話会を2回実施し、市民協働のまちづくり推進プランの進行管理や市民活動応援補助金の見直しなどについて意見聴取し、次年度の補助金制度を改定しました。 市民活動団体に市民活動応援補助金を交付し、財政的支援をしました。また、活動発表会を、市民活動サポートセンター登録団体活動発表と共同開催しました。 パブリックコメント制度を活用し、市民の市政への参画を推進しました。 市民活動団体の継続的な活動を行ってもらうため市民活動オフィスフロアを運営しました。 					活動発表会	
							

施策の「5年後の目標」に対する評価				
平成30年度の達成状況				
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁
		—	—	—
C (評価)	達成度合	A: 目標を達成又は上回って達成できた(目標の100%以上)	達成状況	<ul style="list-style-type: none"> 市民参画協働懇話会で、市民協働のまちづくり推進プランの進行管理や市民活動応援補助金等の市の施策などについて委員からの意見を取り入れ、次年度の補助金制度の改定を行うことができました。 市民活動応援補助金を11件(1,450,000円)交付し、市民活動団体に財政的支援をしました。また、活動発表会を、市民活動サポートセンター登録団体活動発表と共同開催し活動成果を共有しました。また、「スタートアップコース」「ステップアップコース」については春募集のみではなく初めて秋募集も行いました。 パブリックコメント制度を活用し、6件の案件について市民からの意見を募り、一部案件に反映しました。 市民活動オフィスフロアは6団体7ブース(4月は5団体6ブース)の利用がありました。
	課題等	<ul style="list-style-type: none"> 市民活動団体の財政的自立に寄与する市民活動応援補助金制度について再構築した制度が適正かどうか検討していく必要があります。 市民や市職員の協働に対する関心度を高めていく必要があります。 		

目標達成に向けての次年度以降の対応	
A (行動)	対応策等
1: 計画通りに進めることが適当	<ul style="list-style-type: none"> 市民活動団体の自発的な取組を支援するための市民活動応援補助金制度について再構築を行いましたが、実際に募集をかけ、審査を行うなかでより効果的な制度となるよう検討します。 引き続き、市民協働のまちづくり推進プランに基づいた施策の研究、実施を図るとともに進行管理手法についても検討します。

分野	31	地域活動・市民活動	通番 58
施策	312	市民活動の活発化と協働の促進	
5年後の目標		生活の充実につながる市民活動が活発化し、団体の活動や活動団体相互の協働がまちづくりの力になっている。	

概要							
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目		決算額(円)	担当課	
	市民活動サポートセンター 管理運営事業		会計	款	項	8,622,352	自治振興室
			一般	2	1		
事業の概要							
市内のNPO法人などの市民活動団体の広がりや、ステップアップ、団体と多様な主体との連携を促進するため、市民活動サポートセンターを中間的な支援機能を担う拠点として、指定管理者制度を活用し、民間のノウハウを持つ団体が、市民への紹介、団体同士及び団体と市民のネットワークづくりの支援、新規に活動をしたいと考える市民に対する相談及びアドバイスを行います。							


平成30年度の取組							
D (取組)	指標	ネットワークに関する延べ相談件数				単位	件
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2
		目標	57	60	63	66	70
	51(平成26年度)	実績	57	40	20		
<ul style="list-style-type: none"> 市民活動サポートセンターの管理運営を指定管理者制度のもと、市民活動ネットワーク・チーム長岡京を指定管理者として、①市内で活躍する登録団体の活動を市民に紹介し、団体同士や団体と市民のネットワークづくりの支援②センターや協働を市民に知ってもらうための各種事業の実施③活動している団体や活動をしたいと考える市民に対する相談及びアドバイスの実施④登録団体のスキルアップのための研修会の実施などを行いました。 ホームページ、フェイスブック、広報誌「サポセン通信」等により、市民活動サポートセンターを周知しました。 立命館高校と協働でリーフレットを作成しました。また、広報長岡京で市民活動サポートセンターに関する記事を掲載しました。 						市民活動サポートセンター	
							

施策の「5年後の目標」に対する評価 平成30年度の達成状況				
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁
		市民活動サポートセンター登録団体数	市民活動サポートセンターの周知や市民活動の広がりとともに登録団体数は増加傾向です。	
C (評価)	達成度合	C:目標の一部を達成できなかった	<ul style="list-style-type: none"> 登録団体数(施設利用ができる団体数)は、平成29年度の163件から186件に増加しています。 団体支援につながるネットワークに関する相談件数は目標を達成できませんでしたが、府下中間支援組織・府協働コーディネーターとの勉強会やボランティアコーディネーション力検定などスタッフのスキルアップに努めたことにより、中間支援組織としての機能は向上してきているといえます。 利用者数については、ミーティングルームの利用者数が平成29年度の8,795人から9,486人に増加しています。(イベント・事業への参加者・来場者は含めていません)。 	
	課題等		<ul style="list-style-type: none"> 市民活動に興味のある市民の方や活動している団体に対して、市民活動サポートセンターの中間支援組織としての役割をさらに周知する必要があります。 引き続き、中間支援組織として、行政、企業、NPO、支援者等をつなげる仲介的な機能も担い、また市民活動団体の運営に寄り添いながら、組織の基盤整備や支援を担うための専門性が求められます。 テーマ型の市民活動団体と地縁団体をつなげ、お互いの活動を広げられるようサポートする必要があります。 	

目標達成に向けての次年度以降の対応	
A (行動)	方向性
A (行動)	1:計画通りに進めることが適当 <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、市民活動に対する課題に的確に助言できる中間支援機関となるよう、スタッフのスキルアップのために交流会や研修に参加します。 市民活動団体の活動発表会に地縁団体も参加し、交流する機会を増やします。

分野	31	地域活動・市民活動	通番 59
施策	312	市民活動の活発化と協働の促進	
5年後の目標		生活の充実につながる市民活動が活発化し、団体の活動や活動団体相互の協働がまちづくりの力になっている。	

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	多世代交流ふれあいセンター 管理運営事業		会計	款	項	目	8,894,346	多世代交流ふれあいセンター
			一般	2	1	20		
事業の概要								
市西部の地域活動・市民活動を支える拠点として、また世代を超えた市民の幅広い交流を促進し、市民活動、男女共同参画、地域福祉、健康づくり及び生涯学習に寄与する場の提供、充実を図ります。								

平成30年度の取組							
D (取組)	指標	多世代交流ふれあいセンター利用者数				単位	人
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2
	32,387 (平成26年度)	目標	34,500	35,500	36,500	37,500	38,500
		実績	41,246	38,725	38,853		
	指標	多世代交流ふれあいセンター利用登録団体数 (生涯学習・市民活動オフィス・男女共同参画・健康福祉のフロア計)				単位	団体
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2
141(平成26年度)	目標	149	154	158	163	168	
	実績	151	142	154			
<p>・交流室内で使用使用する備品収納について、前年度の空調設備改修工事で空室になった隣接する機械室を活用し、稼働スペースを広げ利便性の向上を図り、より多くの方に利用していただけるようにしました。</p>					<p>交流室での活動の様子</p> 		

施策の「5年後の目標」に対する評価				
平成30年度の達成状況				
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁
		—	—	—
	達成度合	<p>B: 目標をほぼ達成できた(目標の80%~100%程度)</p>	達成状況	<p>・「生涯学習フロア」の利用者数は、28,306人、また、すべてのフロアまで加えたセンター全体の利用者数は、38,853人となり、年度目標を達成しました。なお、利用登録団体数については、新規登録が14団体(生涯学習フロア10団体、市民活動オフィスフロア1団体、男女共同参画フロア3団体)ありました。</p>
課題等	<p>・開館以来、ロビー以外の場所は飲食が禁止となっており、午前・午後を通して利用する利用者からの飲食場所の設置の要望が多く、今後の利用促進のためにも対応が必要です。</p>			

目標達成に向けての次年度以降の対応	
A (行動)	<p>方向性</p> <p>1: 計画通りに進めることが適当</p> <p>対応策等</p> <p>・飲食場所の設置について、検討します。</p>